福島原発事故３年、原発の再稼働反対、原発ゼロに向けて

「３・１１メモリアルアクション　―原発のない新しい福井へ」

（「さよなら原発福井県集会 in さばえ 2014」）

福井県民の結集を訴えます。

【実行委員会・共同代表】

山本　富士夫　大久保　恵子

若泉　政人　　中嶌　　哲演

【実行委員会への参加呼びかけ団体】

さよなら原発福井県集会 in ふくい 2013 実行委員会

もう動かすな原発福井県集会実行委員会

原子力発電に反対する福井県民会議

さよなら原発福井ネットワーク

反原発福井コラボレーション

原発問題住民運動福井県連絡会

原発住民運動福井・嶺南センター

みなさん、昨年３月１０日には福井市で多くの福井県民が集まり福島と連帯し「さよなら原発」の思いを話し合い世論に訴える「３・１１メモリアルアクション　原発のない新しい福井へ」を１２００名の参加で行いました。本年は、さよなら原発福井県集会を鯖江市で開催いたします。

この間、多くの福井県民の「さよなら原発」の思いに反して西川福井県知事は、政府の総合資源エネルギー調査会の委員に加わり原発推進政策を進める安倍政権を支えています。また国民的な反対運動にもかかわらず安倍政権は原発を重要なベース電源に位置づけ「規制基準」に適合した原発は再稼働すると明言し、また外国へ原発輸出も進めています。

福島第１原発は、未だ収束されず１５万人の福島県民が避難生活を送っています。福島原発事故の原因究明も不十分なまま、福島第１原発の汚染水は、コントロールされず漏れ続け大地や海洋を汚染しています。除染も補償も進まず３年目を迎えました。

福井県の原発では、大飯原発でも敦賀原発でも、敷地内の破砕帯が活断層と強く疑われています。特に大飯原発では、科学的調査が不十分なまま原子力規制委員会が「活断層ではない」との評価をまとめ再稼働に向けた安全審査が進められています。昨年秋の台風による土砂くずれで高速増殖炉「もんじゅ」との交通が遮断され孤立、データ送信も停止になりました。福井の原発では、事故発生時の住民の避難防災対策が不可能な状態です。

今必要なことは、福島原発災害を繰り返さないために、国民運動によって政府に「全ての原発とさよならする」決断をさせることです。原発のない新しい福井をつくるため、わたしたちは国内外の原発をなくす広範な運動グループと手をつないで、福井県民の声を集め、福井県と国へ働きかけていきます。みなさんに「３・１１メモリアルアクション　―原発のない新しい福井へ―」へのご参加とご協力を訴えます。

スローガン：　・ちょっと待って！安倍さん西川さん　　・ありえない！原発再稼働

・こんにちは！原発のない新しい福井

「３・１１メモリアルアクション　―原発のない新しい福井へ」

（「さよなら原発福井県集会 in さばえ 2014」）

実行委員長共同代表　山本富士夫、大久保恵子、若泉政人、中嶌哲演

連絡先　林　広員　（０９０-８２６３-６１０４）

以上